



高尾の緑

Vol.105

学校法人トヨタ東京整備学園
専門学校

トヨタ東京自動車大学校
Toyota Technical College Tokyo

国土交通大臣指定・文部科学大臣認定
〒193-0944
東京都八王子市館町 2193 番地
TEL 042-663-3211 編集責任者 安藤祥二

合格証書



昨年度から始まった『トヨタ東自大 ハイブリッド検定』が7月に実施されました。HV知識の向上、チャレンジ精神の育成を目的として始まった検定試験ですが、一年生は今回が初めての検定試験となり、全員が三級にチャレンジしました。

トヨタ東自大ハイブリッド検定



エンジニアウェアに貼りアピールできるワッペン

また、筆記及び口述試験が実施される難関の一級には見事15名が合格し、トヨタ東自大殿堂入りとなりました。
(職員 木村 勇)

今年度1級を取得した15名



7月22日から3日間、当校に進学を検討している方々を招いて、夏の恒例イベントである体験授業が行なわれました。厳しい暑さの中で「自動車とは楽しい乗り物である」ことを体験してもらいました。また、盛岡、仙台、宇都宮の各会場に於いても同様の体験授業が実施され、授業アシスタントとして参加した、当校の在学生の成長も垣間見ることが出来ました!!



診断ツール説明中

2011 体験授業・見学会



初めての電動カート

私はアシスタント学生として体験授業に参加しました。一日中一緒に過ごす事に、多少の不安はあったものの、作業や誘導を無事こなす事が出来ました。自分の口で分かりやすいように説明する難しさや大変さを経験できた事、また、沢山の人の交流できた事は、とても楽しくよい経験になりました。
(整備科 島崎 恵美)

第19回学園祭

H23.10.29~30

テーマ決定!

『トヨタ東自大の元気
~自動車の力~』



トヨタショー開催決定!

ドライブ王国2011 in 長野

トヨタグループ主催によるドライブ王国が、7月30日~31日に長野市のエムウェーブで開催されました。今回は震災で被災した長野県栄村の復興支援を兼ねた開催となり、各ブースでは、車の楽しさを体験できたり、地域物産店などの出店もあり、会場内は若者や家族連れで賑わいました。
当校は「目指せ! 未来のエンジニア」をテーマとして、小学生以下対象に、エンジン、のしくみ、塗装、エンジンオイルの点検、自転車発電等を設けて、自動車整備士の仕事を疑似体験してもらいました。二日間で366名の子供たちを、当校の学生10名がスタッフとして、子供目線で対応してくれていたため、来場者の方も満足の様子でした。



お問い合わせ・イベント申込みは「学生部」まで!

なろう - 1級・2級

0120-76-1929

トヨタ大学校

検索



チャレンジ! 入学試験がスタート!

試験日程

10/12(水)・19(水)・26(水)
11/11(金)・25(金)
12/9(金)

施設見学 要予約 (11時~13時)

10/1(土)・8(土)・15(土)・22(土)
11/12(土)・26(土)
12/10(土)



トヨタ東自大の 応援制度

詳細はお問い合わせ下さい。

1. 受験生紹介制度 卒業生の方・関連企業の方
2. 寮費無料!(定員あり) 校内寮・1年次の室料
3. 学費サポートプラン(オリコ)追加 在校生も利用中

クラブ活動！ 遍況報告！！

自転車部



今回の夏休みに富士山に登りました。初めて日本で一番高い山に挑戦しましたが、当日すつと雨でした。ですので登るのは遅く大変で八合目から山道が段々滑りやすくなってきました。仲間たちと喋りつつ道を進んでいきました。ようやく山頂まで到達しましたが、残念ながら天気の影響で富士山の景色は殆ど見えませんでした。しかし、私にとっても良い経験になりました。

富士山登山



これからも山を一つ一つ登れるように頑張っていきたいと思っています。

1級自動車科 陸 一昂 (りくいちゆう)

モーターサイクル部



富士スピードウェイ本コース6時間耐久レースに出場しました。結果はクラス4位を取ることが出来ました。
決勝日は雨で、路面とタイヤのグリップ力を考えながら慎重に走っていたのですが、レース中盤に転倒してしまいました。幸いな事にバイクには大きな損傷もなく、迅速なピット作業のおかげで、レースにすぐに戻ることが出来ました。
レースは1人では出来ませんが、先生方、先輩方、部員の手伝い、応援があつて4位が取れたのだと思います。ありがとうございました。

自動車整備科 渡辺 港人

富士三バイク耐久レース



自動車研究部



8月7日「2011 Ene-1 GP SUZUKA」に出場しました。9:20タイムアタックで2位、S字タイムアタックで3位、60分ロングデイスタンスで4位、総合で3位に入賞することができました。ヨタハチEVでは初めての表彰台、放課後毎日遅くまで残り、作り続けてきた成果です。
走行中に気がついた異音、操舵感覚のズレ等を改善、さらにアップデイトして次回の11月に開催される大会では優勝を目指し、仲間と一丸となつて頑張ります。

1級自動車科 竹内 豊

2011 Ene-1 GP SUZUKA



トヨタグループ研修旅行 猿投アドベンチャーフィールド 4WD試乗！！



①まわして...



②手をついて...



④脱出！！！！



③足をついて...

転倒車両からの脱出体験



メガクルーザーの勇姿

4WD車の走破性を体感



深さ70cmのぬかるみからも脱出！！

2年生は、トヨタグループ研修旅行の研修先の1つとして、猿投アドベンチャーフィールドに行ってきました。
特に印象に残った事は、様々な自動車関連会社が車両開発に利用しているオフロードコースを市販のランドクルーザーで走行した事で、先の見えない勾配を、ハンドル操作のみのオート走行で楽々登る技術にとっても感動しました。
最後は、幻の四駆「メガクルーザー」に挑戦！ 走行後には「俺も四駆がほしい」と言う学生の声が多く聞こえました。今回の様なエキサイティングな体験をした事で、快適性を求める以外にも、自動車を持つ楽しさを再認識できました。

トヨタ2000GT EVプロジェクト 進捗状況



トヨタ2000GTのEV化・レストア状況ですが、ボデークラフト科の学生により、ボデーの塗装剥離作業が始まりました。鉄板が剥き出しになったことで、現代の車とはボデーラインの違いがはつきりとした。40年以上前の車としては錆が殆ど無く、車の保管状態の良さが伺われます。今後は板金、パテ修正を行います。ボデーから分離されたシャシー関係は、ハイブリッド・EV科でサスペンション、ブレーキ関係のO/Hを行い、ブッシュやボールジョイント等は交換する予定です。更に、エンジン、トランスミッション、デューアレンシャルを取り外し、EVコンバートへの準備を今後実施する予定です。



2011年夏休み体験記



家族旅行 ～フランス～

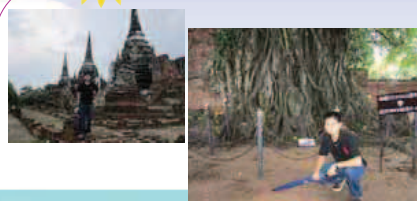
1級自動車科 加賀谷 堯

今回の夏休みは、家族でフランス旅行に行ってきました。

世界遺産のモンサンミッシェル、ルーブル美術館のモナリザ、エッフェル塔の見学、他にも、ヴェルサイユ宮殿やゴッホの肖像画などが展示されているオルセー美術館にも行くことができました。

建物も日本とは桁違いで、ゴシック様式の主要部に内部は中世の建築様式が混ざり合ったものなど、とても興味深かったです。食べ物も含め、色々と文化の違いを実感できて良い経験になりました。

また、フランスはとても過ごしやすく、日本みたいに湿度が高い国ではなく、自然に肌がスベスベしました。そよ風も気持ち良く、とても良い気分転換になりました。



微笑みの国 タイ

自動車整備科 川鍋 拓朗

私は、この休みが満喫できる最後の夏休みかも知れないという思いから、のんびりと安く過ごせる国を探し、タイへ一人旅をしました。元々、寺院や遺跡、歴史的建造物を見るのが好きな私にとって、とても魅力的であり、以前から行ってみたいと思っていました。また、近年の経済成長は凄まじく、将来は国外でも働きたいと考えているので、その下調べにもという思いもありました。

タイの首都バンコクを中心に観光し、短い滞在時間だったため多くの観光スポットへは行くことができませんでしたが、三大寺院と言われるワットプラケオ、ワットポー、ワットアルンなどの定番な所へは行くことができました。他にも、ムエタイ観戦や本場のマッサージなど、とても楽しかったです。

今回は一人旅ということで、心配や不安もありましたが、行きたい場所へ行き、食べたい物を食べ、休みたい時に休む一人旅の自由さがありました。色々と考え、良い旅にしようとするプロセスが自分自身を成長させてくれました。これからも海外旅行へ行きたいと思います。



あれから145日

1級自動車科 岡谷 和明

この夏休みに帰省して、久しぶりに実家のある大槌町を見ると、復興は少ずつづつしていますが、もっと片付いているのを想像していただけにショックでした。

夏休み期間中、瓦礫の撤去作業を手伝っていましたが、「わざわざ、帰って来て有難う。」と言われた時、涙が出そうになりました。私がこの場所に居られるのは、約一ヶ月だけなので、少しでも多く手伝いたくして休憩もしないで作業していました。すると、一人のお爺さんに「そんなに焦っても前より弱い町を作るだけだから、じっくり強い町を作って行こう。それには、お前ら若い者の力が必要だから、休憩の時は休んでくれ。」と言われました。

心にずっしりとくる言葉でした。ここに居る人達みんなが、復興ではなく前よりも、もっと良い町にしようと考えているようでした。少ししか出来ることはないけれども、長期休みの時には実家に帰り、地元のために何か一つでもやろうと、心に決めた夏でした。頑張ろう！ 大槌！

スーパーGT SUGO ピット体験



1級自動車科 藤原 允輝

私は毎年、SUGOでのスーパーGTのレースにファンとして観戦にきていますが、今回、初めてピット体験することができました。3日間の参加になりますが、初日は、車や機材の搬入、ピット内でのパティション設置、タイヤの運搬などが主な仕事でした。そして、予選日は暑気が変わり、空気が重く感じられる中、自分達ができる仕事を懸命に取り組みました。ピットクルーの人達との整備する姿も間近で見ることができました。その中でも、脇阪寿一さんのスーパーラップが始まったときは、観客として見ていたときと違い、物凄い緊張感があり、走り切ったときの喜びは忘れられないものとなりました。



決勝日も予選日に続き、自分達ができる仕事に取り組みました。見ている時間が多くなりました。スターティング・グリッドに車や機材を運ぶと予選以上の緊張感があり、心の中で「完走してくれ！」と願っていました。レースは残念ながら途中でリタイアになりました。泣きそうになってしまいましたが、スタッフの皆さんとたくさん話してもでき、気持ちを切り換え、撤収作業を終えました。この体験を通して、レースウィークは早朝から遅くまで大変だと思いましたが、チームの一員として参加したこと得られたものは貴重な経験として、参加して良かったと思います。

モータースポーツ特集

クラフトレーシング 工場メカニック体験

第1回 7月23日～25日 第2回 8月8日～10日



1級自動車科 反後 慶一

「努力が認められるのは二十三歳まで、それ以降は結果が伴っていないといけない。」チーフメカニックの方が教えてくれた言葉に、プロの現場の厳しさを感ぜつつ、工場体験が始まりました。モノコックだけだったポデリーが取り付けられ、新しいエンジンの始動にも立ち会うことが出来ました。全員が見守る中、V8エンジンに火が入り、胸に響く迫力ある排気音にとっても驚きました。エンジンに大きな魅力を感じた瞬間です。本物のGTカーに触れられるチャンスもありました。クラフトのメカニックの方々は、本当にカッコ良かったです。私も少しでも近づけるように、小さな努力を積み重ねて行きたいです。

1級自動車科 梶 彰斗



私の愛車は、NCP13型のヴィッツRSターボです。以前はカローラレビンに乗っていたのですが壊れてしまい、税金面でも安価なヴィッツを購入しました。この車での自慢は、やはり外装面です。世間で言う「痛車」になつています。車体に貼っているキャラクターは好きなゲームのヒロインで、自分で一からバイナル(グラフマックシート)などをデザインしました。費用はカラーのバイナルが3万円位、文字やステッカーが1万円位です。街中を走っていると目立つ車なので周りの人達の視線を凄く感じます。車の趣味と他の趣味が両立でき、とても良いと思っています。興味がある人は、気軽に声を掛けて下さい。

佐藤 健彦

ネッツ多摩(株) 日の出店

私は職場体験で、ネッツトヨタ多摩(株)日の出店に4日間実習をさせて頂きました。日の出店の方々には全員元気だとも明るく、優しく丁寧に接して頂いたため楽しく学ぶことが出来ました。ちようど入社して数ヶ月の方がおり、入社してからの仕事の流れを知ることが出来ました。主に車検や定期点検を行っていましたがタイヤ交換やベルト交換などをスムーズ

インターンシップ プロの技を体験

竹内 祐貴

(株)イヤサカ

今回、(株)イヤサカで5日間朝9時から業務終了時間まで販売技術課の同行をさせて頂くことが出来ました。取引先企業が、ホンダ、富士重工業、アウディ、東京消防庁など大手ばかりで大変身の引き締まる思いでした。研修期間中ではありましたが、富士重工業の社内で測定機器の打ち合わせに同席し、また、ホンダや東京消防庁では、4柱リフトの定期点検も体験できました。



にこなして、プロの技術の凄さを感じました。入社してから少しでも仕事ができるように、これからの学校生活でしっかりと知識を身に付けると共に体力作りも必要だと強く思いました。

社員の方々には、大変お忙しい中面倒を見て頂き、とても充実した毎日を送ることが出来ました。今後、入社までの間に自分自身のスキルを磨き、活躍できるように努力していきたいと思えました。



加藤 舞子

ネッツ神奈川(株) 湖野辺店

私はネッツトヨタ神奈川(株)湖野辺店へ実務見学に行き、実際に整備している所や車検をしている現場を見る事が出来ました。車検をしていた三人の方々が、非常に早く正確な作業をしており、なおかつとても丁寧な作業には驚きました。また、お互いに声を掛け合って分担当作業をしている



姿を見て、一つ一つの作業をしっかりとこなす、自分の作業に責任を持つ事が必要だと分かりました。そのためにも今出来ることを一生懸命取り組み、日々の授業を大切に、知識と技術を身に付けたいと思えました。今回の実務見学で学んだ事をこれからの学校生活に活かしていきたいです。

エコカーカップ 富士スピードウェイ



8月7日に富士スピードウェイで行われたエコカーカップ Hybrid car 日本一決定戦に参加してきました。総合順位は60台中10位、30プリウスのノーマルクラスで2位という結果でした。初めての本科コースでの開催で、参加台数も今までで最多、その中でも参加したクラスは最も競争率が高く、そこで好成绩を残せたのは非常に良かったです。他のクラスではBMWやLS600hなどパワフルな車種が参加し、とてもエキサイティングなレースで、今までにない盛り上がりでした。今回、私たちのチームはピットでのドライバー交代が他のチームと比べてとても早く、連携の良さが結果に表れたと思います。クラス1位のチームとの差も4ポイントと僅差だったので、次こそは優勝を狙って頑張ります。



利用したジムカーナ、ダートレースとは違い、ドライバーとコ・ドライバー(ナビゲーター)二人一組が搭乗しての競技となり、サーキットのような固定の競技場を持たず、一般公道で行われる競技になります。通行止めにした林道などでタイムを競うのですが、タイムを測定する林道などをスペシャルステージ(以下SS)といい、SSは林道をはじめ、駐車場を

たウィッツチャレンジ第3戦に学生10名、引率職員2名で出場して参りました。第1戦、第2戦とトラブル等によりリタイアが続いていたため、今大会はレース前の整備やミーティングに多くの時間を費やし、万全の体制でレースに臨みました。今回はドライバーに1級4年の土屋、コ・ドライバーに同じく1級4年の村田の1台体制。コースは林道が2本、駐車場でのジムカーナが3本の計7本の戦



いとなりました。林道で大きくタイムを離されるもの、ジムカーナではトップタイムを叩き出し健闘。チーム一丸となって臨んだ結果、学生クラスで2位完走を果たすことが出来ました。次回は10月23日(日) 第5戦新城(愛知県)に参戦予定です。これからも精一杯頑張りますので、応援よろしくお願いします。

エコカーカップとは

8月のレーシングコース戦は燃費とタイムを競い合ったが、通常行われているショートサーキット戦は複雑なルードで行われている。全6ステージあり、その合計で総合順位が決められる。

- ステージ1 クジ引き
ステージ2 タイムアタック
ステージ3 給油
ステージ4 15周スプリントレース
ステージ5 35分耐久レース
ステージ6 給油

ただし、ステージ3のみポイントが付かない。ステージ1のくじ引きにもポイントが付くがそのポイントはかなり低い。この中で配分が大きいのはやはりステージ6の給油量。ステージ4、5で燃料を使いすぎると順位を大きく落とす。しかし燃費ばかりを気にしている

クラス分けが細かく設定されており、車の性能差があってもクラス優勝が狙える。大会の趣旨は「より安全に参加できるレース!」次戦はショートサーキットで11月に開催予定。



新入職員紹介



和合 篤史 先生

8月1日付けで本校職員として着任致しました和合篤史です。平成12年に本校専門科28期を卒業し、トヨタ西東京カローラ株式会社で11年間サービスマンとして従事して参りました。これまでの実務経験を活かして、母校で学ぶ学生の「自動車整備士になる!!」という夢実現の為に全力を尽くします。よろしくお願致します。